

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和7年度）

1 支援の内容及び効果等

評価項目

「取組状態・自律度の状況把握シート」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担い手の減員やノウハウの不足が見られる中、地域に赴くなど支援できている。また、地域事業に係るアンケートやヒアリングを実施するなど、地域の運営や活動の支援ができている。

2 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援の状況及び効果等

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重点施策として、地域づくりアドバイザーにより地域活動協議会（以後、「地活協」という。）の組織運営に係る助言、指導、相談業務を行った。また、役員の省力化や新たな担い手への引継に役立ててもらえるよう、地活協の運営の手引を作成し各地活協に配布した。 ・ 町会加入促進の一環として、町会の手引を作成し、円滑な運営や充実した活動に繋げていただけるよう、地域連絡会議を通じて各町会へ配付した。 ・ 地域活動に対する新たな担い手を発掘していくため、地域活動になじみの薄い層に対し、効果的に情報発信を行うため、LINE公式アカウントの立ち上げから実践に向けた広報講座を連続で2回開催し、地域の情報発信等の支援に取り組んできた。 ・ 第12回「東淀川みらいEXPO」では、区内企業、団体、個人が協働で何が取り組めるかを話し合い、第1回「東淀川みらい会議」（名称変更）では、大学生から企業や団体と取り組んできた内容を発表していただき、今後、企業、団体、大学などが協働して取り組み内容について話し合った。また、地域貢献や社会貢献、SDGsの目標達成のため、「キョードーチャンス！東淀川」に参画する企業、団体、個人を募集し、3回にわたって協働で取組む内容について、意見交換してきた。 ・ まちづくりフォーラムでは、「マンションコミュニティの活動事例と工夫」をテーマに今後の町会活動の在り方について講演会を行った。 ・ 「マチミラ★創造塾」を全4回の連続講座を開催し、参加者が

	<p>考え学び、繋がりを形成し、ウェルビーイングな地域づくりに役立てていただくよう支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> • いくつかの地活協において、企業等との連携が始まっているが、一部の地活協にとどまっており、企業連携等を進めることについて、情報発信と場づくりが、繋がりの拡充のために必要な支援であり、引き続きの取組を期待したい。
--	---

3 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

評価項目

- (1) アンケート調査
- (2) その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> • 地域活動協議会に対して、地域づくりアドバイザーが、地域の実情やニーズに即した支援を実施していると思う割合 令和7年度 70.6% 17地域中12地域 回答率100% アンケートでは、一定評価いただいているものの、自律的に活動ができている地域では、地域づくりアドバイザーの接点が少なくなってしまった。

4 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> • 地域活動において、依然として地域格差がある。自律的に新たな取組を行う地域もある傍ら、基本的な地域運営が難しい地域もある。令和6年度と比較して改善の見られる地域もあるが、引き続き支援が必要である。 • 令和7年度から地活協の構成団体である町会の支援も業務として位置付けられ、町会の手引きを策定した。今後とも包括的な地域支援を期待したい。 • 加えて地活協の意義や目指す状態を再確認し、自律的な地域運営が行われるよう活動者の意識改革にも取り組んでもらいたい。

（評価基準）

- S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
- A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
- B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
- C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。